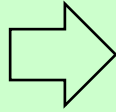


水稻を中心にえだまめ等を組み合わせた収益性の高い複合経営を実現 ～農事組合法人 サンファーム大戸～

経営体の概要

法人設立：平成19年
基幹作物：水稻、大豆、えだまめ
いちご、ねぎ
経営面積：40ha



現在：令和3年
基幹作物：水稻、大豆、小麦、えだまめ
いちご
経営面積：70ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

前歴及び実施中の国営かんがい排水事業により地域の排水機能が整備され、平成21年度から開始された県営ほ場整備事業を契機として農地を集積・集約した。大型機械の導入や作業の効率化でコスト低減を図るとともに、経営規模を拡大しつつ、えだまめやいちごの栽培に取り組み、収益性の高い農業経営を実践し、地域の農地の受け皿としての役割も担っている。また、令和元年度には3法人共同で「(株)伊彌彦」を設立し、米の直接販売を強化するほか、えだまめは村と共同で「伊彌彦ちゃまめ」等としてブランド化している。

営農改善のポイント

①作物の変化

経営面積が増加し水稻の苗注文も増える中で、育苗ハウスの不足もあり園芸面積を拡大した。えだまめは、機械化が可能で専従者配置のために年間作業が確保できること、いちごは専従者の冬場の作業が確保できることから拡大した。また、更なる経営安定のため大豆の後作に小麦を導入している。



ハウスでのいちご高設栽培

②栽培技術の確立・向上

ほ場整備による暗渠の施工により、排水性が良くなるとともに、地下かんがいが可能となった。水稻栽培では、春の入水を暗渠から入れることで均等に早く入水が可能となるとともに、中干し後に地下かんがいを行い田面の固さを維持し大型機械の作業性が向上、園芸栽培では、夏の高温時期に地下かんがいをすることで、根腐れを防止しつつ地中水分を維持出来るようになった。



ほ場整備による大区画化

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：新潟市、燕市及び弥彦村
受益面積：19,535ha
事業期間：平成26年～令和7年
事業目的：排水改良
主要工事：排水樋門1箇所、排水機場4箇所
排水路L=3.8km

位置図（新潟県）



<問い合わせ先>

北陸農政局
農村振興部農地整備課
営農指導係
電話：076-232-4725

（令和3年度調査時点）